



「京都CF! 編集長の無責任時代」「nao's 京都牧遊記」など、京都CF!のスタッフが京都の街を綴ります。スタッフが街で見つけてきたオモロイもん、誌面では紹介できなかった取材の裏話や取材の現場をなどを、日々の奮闘ぶりと共に垣間見ることのできるのがこのブログ。スタッフブログへのアクセスは、下記の京都CF! ホームページからどうぞ。

<http://www.kyotocf.com/>

今月の  
**オレ**  
甘かった

写真とは関係ありませんが、三千院へ向かう山道で売っているアイスきゅうりは必食です。もれなく「150万円です〜」などベタなホケが付いてきます

キモ可愛いが  
ウケルのは  
やはり時代の  
流れ、か?

大原の朝市の取材を終え、フォトグラファーと「せっかくだし三千院いきましようか?」と向かっていた道中。界隈の密かな名物であるアイスきゅうりとおちゃんの軽妙なトークを満喫していたところ…!? なんじゃこりゃあ? である。かなりパンクな枯れ枝のモヒカンヘアにオトボケ顔のコイツ。どうやら土産物店のマスコットのキャラのようなのだが…。む、それにしてもこのやる気なげな表情といい万歳しきれないなんとも微妙なボーリングといい、ツッコミどころが多すぎて困っちゃうよ。

■三千院近辺

大原の謎に迫る!?



共通して言えることは、車のオーナーが安価なパーツと独自のアイデアで思いっきり車を楽しんでいること。まずは自由な発想を大切に楽しむ。飽きたらすぐにやりかえる。信号待ちで止まった同じ車のオーナーが嫉妬するのは「高価なエアロパーツ」や「キンピカのアルミホイール」ではなく、意外とこんな小技なのである。

1. ダミー・エア・インターク  
自然吸気エンジンをターボ車に見せる裏技は、なんと違う車種のパーツを流用してしまう。部品はメーカー純正でも1000円〜2000円
2. ダミー・ツイン・フォグ  
腕に覚えのある人はどうぞ。ホームセンターで販売している排水パイプ・塩ビ配管パイプをカットしてフォグランプを2つ配置。純正で付ければ40000円くらいでするところ、材料費と塗装費用でおよそ5000円
3. ウッド・ホイールキャップ  
無機質になりがちなホイールキャップをウッド調に可変く仕上げる技なのだが、実はこれ100円ショップで売っている「お盆」。ホイールキャップとしてネジ一本で取り付けたもの。4輪で400円!

## Kyoto Car-Moratorium

~京都人のクルマ知らず~

中島 崇 (なかじま たかし)

88年生。自称「車遊びの達人」。創業昭和38年、北區は紫野の自動車屋・(株)中島商会の二代目社長にして「安くていい車」を探すスペシャリスト。かつて自動車オークションの取引で2000万円をドブに捨て、大失敗の連続から学んだノウハウをまとめた無料小冊子「その車に手を出すな!」も好評。中島流「車道家元」を目指す京都人。

「京の街を走る車に、京都人の粋を見ることは少ない」という思いから端を発したこの企画。何となく個性の心が奪われる車がない。つまり「ナイスイガイは結婚が遅れる」という状態。先月はインテリアの工夫を紹介したが、今回は「プロの私が心を奪われた「エグステリア編」を紹介したい。

《実践編②》「エグステリア編」

4th Lap

「ましまろ」2001年・14  
フランク・オズ監督  
⑤シャーロット・ランプリング  
いつもの夏と同じく、マリ- (C・ランプリング) は夫と海辺の別荘で過ごす1週間ある日、突然夫は海を泳ぎ、2度と戻らない。夫の死を受け入

2004年韓国・日本  
キム・ヘクン監督  
「ユウリ」

映画の味

イラストと文  
ハヤシチサコ

ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。  
「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともあり。編集部員の熱望により本誌への登場と相成った。